

第21回

小さな展覧会

平成15年度京都府内

遺跡発掘調査成果速報

日時：平成16年8月14日(土)～29日(日)

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター

後援 京都府教育委員会 協賛 向日市文化資料館



展覧会開催にあたって

当調査研究センターでは、平成15年度に27件の発掘調査を行いました。今回の展覧会では、そのなかでもとくに注目された調査13件をとりあげ、京都府内の各関係機関の発掘成果16件と合わせて展示することといたしました。

この展覧会の目的は、冒頭で述べましたように、前年度に京都府内で行われた発掘調査の成果を出土遺物や写真パネルなどによって紹介し、合わせて一般の方々に埋蔵文化財への理解を深めていただくことにありますが、そのためにも、よりわかりやすく、親しみやすい展示を心がけたつもりです。

今回の展覧会に後援をいただいた京都府教育委員会、また、協賛をいただいた向日市文化資料館をはじめとして、多くのご協力を賜った各市町教育委員会等の関係機関に対し、深く感謝いたします。

平成16年 8月

財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター

理事長 上田正昭



1. 奈具岡遺跡
2. 赤坂今井墳丘墓
3. 今井古墳
4. 大垣・一の宮
・難波野条里制遺跡
5. 明石大師山古墳群
6. 岡ノ遺跡
7. 石原遺跡
8. 高梨遺跡
9. 野条遺跡
10. 里遺跡
11. 三日市遺跡
12. 大淵遺跡
13. 案察使遺跡
14. 小野瓦窯跡
15. 平安京
右京一条三坊九・十町

16. 平安京
左京三条四坊十町
17. 栢ノ杜遺跡
18. 淀城跡
19. 長岡宮跡宮内第423次
20. 長岡宮跡宮内第430次
21. 長岡京跡左京第486次
22. 開田城跡
23. 長岡京跡右京第781次
・神足遺跡
24. 美濃山廃寺
25. 内里八丁遺跡

26. 芭蕉塚古墳
27. 芝山遺跡
28. 井手寺跡
29. 薬師堂古墳
30. 恭仁宮跡

—表紙の土器は、今井古墳から出土した須恵器特殊扁壺を図案化したものです。—

丹 後

いまい
【今井古墳】 京丹後市峰山町赤坂

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

弥生時代後期では全国でも最大規模を誇る赤坂今井墳丘墓の近くにある、直径約12mの古墳時代後期の円墳です。竪穴式石室に類似するめずらしい形をした横穴式石室から、須恵器をはじめ鉄器・装身具などの副葬品がみつかりました。特殊扁壺と呼ばれる須恵器の壺は、府内では4例目の出土となる珍しいものです。



あけしだいしやま
【明石大師山古墳群】 与謝郡加悦町明石

加悦町教育委員会調査

全長170mの大型前方後円墳、国史跡蛭子山古墳の背後丘陵に分布し、弥生時代後期から古墳時代前期の約40基の墳墓からなります。古墳はいずれも小規模ですが、周辺の大型古墳でみつっているものと同様な食物の形を模した儀礼用と思われる土製品が出土しており、大型古墳の被葬者との密接な関係がうかがわれます。

おおがき いちのみや なんばのじょうりせい
【大垣・一の宮・難波野条里制遺跡】 宮津市大垣
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

日本三景のひとつ天橋立の付け根にあたり、宮津湾と阿蘇海に面する平野に広がる遺跡で、これまでの調査によって、古墳時代から中・近世の各時期の遺構や遺物がみつっています。遺跡の周辺には、丹後一宮の籠神社や国府推定地があり、中世のようすは、雪舟の描いた「天橋立図」によってうかがうことができます。



主な展示資料 — 今井古墳 —



須恵器特殊扁壺



須恵器壺



玉類・耳環

丹 波 (1)



^{いさ}
【石原遺跡】 福知山市石原

福知山市教育委員会調査

由良川中流域の福知山盆地に所在する弥生時代から中世にかけて営まれた集落遺跡で、これまで数次にわたって調査が行われています。第9・11次調査では、弥生時代後期の大形の円形竪穴式住居跡がみつかっています。また、第9次調査では、竪穴式住居跡から直径6.8cmのないこうかもんきょう内行花文鏡が出土しました。

^{おかの}
【岡ノ遺跡】 福知山市東岡・南岡町

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

福知山城の立地する丘陵には、弥生時代の集落遺跡が存在することが、これまでの城の周辺の発掘調査によってわかってきました。国道の拡張工事ともなう昨年度の調査では、弥生時代の竪穴式住居跡や平安時代の土坑がみつかっています。出土した平安時代の緑釉陶器の大型碗は、京都北部ではめずらしいものです。



^{たかなし}
【高梨遺跡】 北桑田郡京北町周山中山

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

周山は、京都と日本海側を結ぶ交通の要衝にあり、山間部にかかわらず数多くの遺跡が分布しています。高梨遺跡は、これまで古墳時代にはじまる遺跡とされてきましたが、昨年度の調査で、約1万3000年前の縄文時代草創期の石のやり槍先がみつかり、この頃には、すでに人々の生活の場となっていたことがわかりました。



主な展示資料 — 岡ノ遺跡 —



弥生土器台付壺



弥生土器高杯



緑釉陶器大型碗

丹波(2)

【野条遺跡】 のじょう 船井郡八木町字野条

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

亀岡盆地北端に位置する弥生時代後期と中世を中心に営まれた集落跡で、周辺には池上遺跡をはじめ多くの遺跡が分布しています。弥生時代の竪穴式住居跡のなかには火事にあったものがあり、住居の床面から、屋根が焼け落ちたため外に持ち出すことができずにそのまま取り残された土器がみつかっています。



【里遺跡】 さと 亀岡市旭町里

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

亀岡盆地を南北に貫いて流れる大堰川の東岸にある集落跡で、6次にわたるこれまでの調査によって、古墳時代中～後期の竪穴式住居跡が70基近くみつかっています。住居跡の大部分は、平面が四角形で、一辺の壁際に炊飯用の竈かまどを造り付けるものが多数みられます。住居内からは、須恵器や土師器が出土しました。



【大淵遺跡】 おおぶち 亀岡市保津町・河原林町

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

亀岡市内を貫いて流れる大堰川東岸の台地上には、千歳車塚古墳や丹波国分寺をはじめ多数の遺跡が分布しています。今回、農地再編事業にともなって遺跡の発掘調査を行ったところ、古墳時代から中世にかけての遺構や遺物が多数見つかりました。このうち古墳時代の溝は計画的に掘られた灌漑用水路と思われます。



主な展示資料 — 野条遺跡 —



弥生土器手焙形土器



弥生土器細頸壺



磨製石鏃

丹波(3)～山城(1)



みっかいち
【三日市遺跡】 亀岡市馬路町

(財)京都市埋蔵文化財調査研究センター調査

亀岡市街地の東部、大堰川から東の山麓にかけては多数の遺跡が分布し、このうち三日市遺跡は縄文時代から中世にかけての遺跡として知られてきました。昨年度の調査で水田の下から多量の瓦や焼け土が出土しました。出土した軒瓦は、丹波国分寺のものと同じもので、国分寺の瓦を焼いた窯があったものと考えられます。

おの
【小野瓦窯跡】 京都市左京区上高野

(財)京都市埋蔵文化財研究所調査

平安京に瓦を供給していた官営の瓦工房「小野瓦屋」の窯跡が崇道神社の御旅所で見つかりました。窯跡は残りがよく、瓦を焼く焼成室しょうせいしつと燃焼室ねんしょうしつからなり、ロストル(火道)をもつ平窯であることがわかりました。御旅所のある丘は、「おかいらの森」と呼ばれていますが、これはお瓦の森がなまったものとされています。



へいあんきょう
【平安京左京三条四坊十町】 京都市中京区

(財)京都市埋蔵文化財研究所調査

旧市立京都柳池中学校の発掘調査で、仏具や飾り金具の材料になる真鍮しんちゆう(銅と亜鉛の合金)の地金を製造した、江戸時代前期の大規模な工房跡がみつかりました。周囲を石垣で囲まれた22基の炉跡や、るつぼなどが多量に出土し、当時の京都で、地金や金属製品の製造が盛んに行われていたようすがわかりました。



主な展示資料 — 三日市遺跡 —



軒丸瓦



軒丸瓦

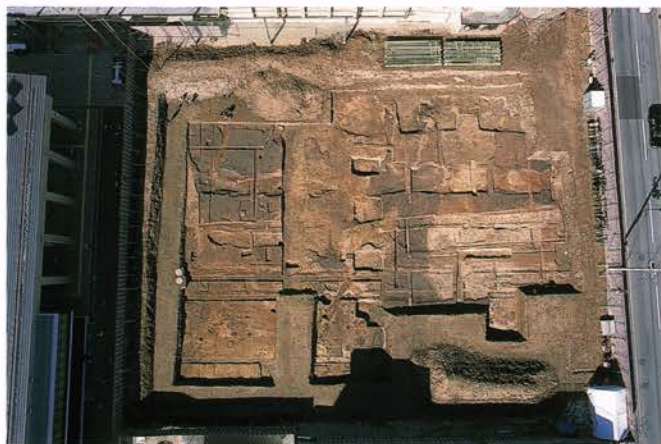


軒平瓦

山城(2)

へいあんきょう
【平安京右京一条三坊九・十町】 京都市北区大將軍
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

府立山城高校の敷地は、平安京の条坊復原によれば右京一条三坊九町と十町にあたり、発掘調査で平安時代前期の貴族の邸宅跡がみつっています。今回、体育館建設にともなって調査を行ったところ、掘立柱建物跡や九町と十町の間を通るたかつかさこうじ鷹司小路の南北両側溝がみつかり、宅地の南側のようすが明らかになりました。



ながおききょう
【長岡京跡左京第486次】 向日市鶏冠井町七反田
(財)向日市埋蔵文化財センター調査

長岡京の二条条間大路の側溝から、折敷おしき(盆)にのったままの食器セットがみつかりました。完形の土器8点と一緒に銅鈴と土錘14点もありました。鈴は魂をおさめる鎮魂祭にも使われる特殊な道具とされ、折敷にのせられた品々は、長岡京から平安京に移る際の鎮魂の祭りに使われた神様へのお供えものとも考えられます。



ながおききょう こうたり
【長岡京跡右京第781次・神足遺跡】 長岡京市開田
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

府道の拡張工事に伴う細長い調査地で、鎌倉時代の居館に伴うものと考えられる大溝や長岡京期の掘立柱建物跡、方形の井戸などがみつかりました。出土遺物のうち、均整唐草文軒平瓦きんせいからくさもんは、長岡京の東院跡で使われたものと同型式のもので、今回の調査地にどのような理由で運ばれたのか、なぞが深まります。



主な展示資料 — 平安京右京一条三坊九・十町 —



緑釉陶器水注



灰釉陶器皿



軒丸瓦

山城(3)



【^{うちざとはつちよう}内里八丁遺跡】 八幡市内里日向堂

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

木津川の西岸にある遺跡で、20次におよぶ調査によって、弥生時代の水田跡や古墳時代～中世にかけての集落跡がみつかっています。今回の調査では、弥生～古墳時代の遺構・遺物のほか、平安時代初期の大型の井戸から^{よこいたせいろぐみ}横板井籠組の井戸^{いげた}枠がみつかりました。井桁に組んだ木材には、組立順を示す墨書が残っていました。



【^{みのやま}美濃山廃寺】 八幡市美濃山古寺

八幡市教育委員会調査

5か年の計画的な発掘調査の最終年度で掘立柱建物跡や柵・溝などがみつかりました。塀と溝は寺域の北東角にあたり、これによって寺の東西の幅は約93mと判明しました。寺に関連する遺構や遺物の分布範囲からみると、南北の規模も90m前後と考えてよいようです。多量の瓦とともに出土した三彩の壺は^{ぶつき}仏器の優品です。



【^{しばやま}芝山遺跡】 城陽市富野上ノ芝

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

宇治丘陵南部、標高40m前後の尾根端部に広がる大規模な複合遺跡で、住居跡や建物跡をはじめ、方形周溝墓や古墳などが多数みつかっています。昨年度の調査では、方位に合わせて整然と配置された奈良時代の掘立柱建物跡群がみつかりました。郡の役所か^{うまや}駅家のような公的施設と考えられています。

主な展示資料 — 内里八丁遺跡 —



須恵器蓋・土師器蓋



須恵器壺



絞胎陶枕

山城(4)

【井手寺跡】 いで 綴喜郡井手町井手

井手町教育委員会調査

左大臣にまで登りつめた奈良時代の権力者橘諸兄たちばなのもろえが建てたといわれる寺院跡です。細長い調査地から礎石建物跡の一部がみつかりました。礎石の掘形は4か所、基壇の東西幅は23m以上です。基壇に用いたとみられる凝灰岩切石も多数出土しており、寺の中心的な建物のひとつと考えられ、今後の調査に期待がかかります。



【恭仁宮跡】 くにきゅう 相楽郡加茂町例幣

京都府教育委員会調査

恭仁宮は、これまでの発掘調査で東・西に並ぶふたつの内裏があったことがわかっています。今回の調査では、内裏東地区の北側を囲む施設が掘立柱の板塀である可能性が高くなりました。また、大極殿の周辺で柱穴や土地造成の跡がみつかり、大極殿を囲む回廊を突きとめていく手がかりを得ることができました。

【薬師堂古墳】 やくしどう 相楽郡山城町綺田

山城町教育委員会調査

ほ場整備に伴う発掘調査で、地表に姿をとどめない古墳跡がみつかりました。濠ほりの底とみられるところに円筒や形象埴輪が堆積していました。古墳の直径は10数m、年代は古墳時代後期初頭と考えられます。このあたりの群集墳の端緒にあたるものと位置づけられ、付近に同じような埋没古墳が存在することも考えられます。



主な展示資料 — 芝山遺跡 —



須恵器蓋



須恵器杯



須恵器杯



遺跡の全景

奈具岡遺跡は、丹後半島のほぼ中央、京丹後市弥栄町溝谷に所在します。遺跡は、竹野川を望む東岸の丘陵一帯に広がっており、弥生時代中期から後期(紀元前1～後2世紀)を中心とする時期に栄えた丹後地域を代表する集落遺跡として、その存在が早くから知られました。

平成4～8年度に行われた丹後国営農地開発事業に伴って遺跡の大規模な発掘調査が行われました。その結果、小さな谷を挟む丘陵の斜面から合計74基にのぼる弥生時代中期の竪穴式住居跡や多数のテラス状の遺構が検出され、周辺から生活道具である土器とともに玉生産に関連する遺物が多量にみつかりました。

出土した玉生産の関連資料は総重量が50kg以上

にもなります。そのほとんどは加工前の原石や製作途中のもの、また失敗品や破片などですが、これらと一っしょに、石を切断するための石鋸、玉に孔を開けるための極細の石製の錐(石針)、玉を成形し磨くための特別な玉砥石が出土しており、さらに玉の加工に使われたと思われる鉄製の工具類などもみつっています。

生産された玉の種類としては、碧玉や緑色凝灰岩製の管玉、水晶製の棗玉、ガラス製小玉などで、玉作りの遺跡としては、全国的にも時期が古く大規模なものです。このように奈具岡遺跡は、玉作りの一大工房跡であり、出土した遺物は、弥生時代の玉生産の実態を知るうえで重要な資料といえます。

では、奈具岡遺跡の玉はどこに運ばれたのでしょうか。現在のところ、水晶製の玉は、丹後地域の弥生時代の遺跡からはほとんど出土していません。玉の行方は、なぞとして残されています。



碧玉・緑色凝灰岩製の玉作り関連遺物



水晶製玉類の製作工程

展示リスト

遺跡名	遺物名	点数	時代	保管者
今井古墳	須恵器	9	古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	鉄器	6	"	"
	耳環	6	"	"
	玉類	一括	"	"
大垣・一の宮・難波野条里制遺跡	土師器	5	"	"
	石錘	2	"	"
	土師器	4	鎌倉時代	"
	土錘	2	平安～鎌倉時代	"
明石大師山古墳群	櫛・漆器	一括	"	"
	土師器	7	古墳時代	加悦町教育委員会
	土製模造品	9	"	"
石原遺跡	内行花文鏡	1	弥生時代	福知山市教育委員会
岡ノ遺跡	弥生土器	3	"	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	土師器	2	古墳時代	"
	緑釉陶器	1	平安時代	"
	土錘	1	"	"
高梨遺跡	石槍	1	縄文時代	"
野条遺跡	弥生土器	11	弥生時代	"
	磨製石鏃	1	"	"
	砥石	1	"	"
	線刻石製品	1	"	"
	須恵器	9	古墳時代	"
里遺跡	土師器	1	"	"
	ミニチュア土器	1	"	"
	砥石	1	"	"
	石錘	1	"	"
	石製紡錘車	1	"	"
	円盤状石製品	1	"	"
	須恵器	4	"	"
	土師器	1	"	"
大淵遺跡	瓦器	2	鎌倉時代	"
	押型文土器	1	縄文時代	"
案察使遺跡	須恵器	3	奈良時代	"
三日市遺跡	墨書土器	1	"	"
	軒丸瓦	2	"	"
	軒平瓦	3	"	"
	平瓦	1	"	"
	丸瓦	1	"	"
小野瓦窯跡	軒丸瓦	3	平安時代	京都市考古資料館
	軒平瓦	1	"	"
平安京左京三条四坊十町	金具鑄型	2	江戸時代	"
	真鍮	2	"	"
	ふいご羽口	2	"	"
	埴塙(るつぼ)	1	"	"
平安京右京一条三坊九・十町	須恵器	5	平安時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	緑釉陶器	3	"	"
	灰釉陶器	2	"	"
	軒瓦	3	"	"
長岡京跡左京第486次	土師器	8	"	向日市教育委員会
	銅鈴	1	"	"
	土錘	14	"	"

遺跡名	遺物名	点数	時代	保管者
長岡京跡右京第781次・神足遺跡	須恵器	4	平安時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	土師器	4	"	"
	墨書土器	1	"	"
	軒平瓦	1	"	"
美濃山廃寺 (西山廃寺)	二彩壺	1	奈良時代	八幡市教育委員会
	軒丸瓦	2	"	"
(西山廃寺)	二彩壺	1	"	"
	緑釉壺	1	"	"
	埴仏	2	"	"
	内里八丁遺跡	土師器	3	古墳時代
内里八丁遺跡	須恵器	2	奈良時代	"
	土師器	2	"	"
	絞胎陶枕	1	"	"
	墨書土器	5	"	"
	円面硯	2	"	"
	帯金具	1	"	"
	井戸枠	1	"	"
	青磁	1	鎌倉時代	"
	瓦器	2	"	"
	芝山遺跡	須恵器	8	奈良時代
鉄製品		一括	古墳時代	"
青磁		1	鎌倉時代	"
井手寺跡	軒丸瓦	4	奈良時代	井手町教育委員会
	軒平瓦	4	"	"
	施釉垂先瓦	4	"	"
	凝灰岩切石	1	"	"
薬師堂古墳	円筒埴輪	1	古墳時代	山城町教育委員会
	朝顔形埴輪	1	"	"
恭仁宮跡	軒丸瓦	2	奈良時代	京都府教育委員会
	軒平瓦	2	"	"
奈具岡遺跡	玉作り関連資料 (重要文化財)	一括	弥生時代	"

凡 例

1. 本パンフレットは、平成16年8月14日～8月29日の第21回「小さな展覧会」の展示パンフレットである。
2. 展示資料は、(財)京都府埋蔵文化財調査研究センターおよび各機関が主として平成15年度に発掘調査を行った遺跡・遺物を対象とした。なお、展示資料中、都合により員数等が異なる場合がある。
3. 展覧会期間中の8月22日(日)に第100回埋蔵文化財セミナー・長岡京発掘調査50年記念講演会を開催する。
4. 資料調査、パンフレット作成、展示資料借用にあたっては、次の機関から御指導、御協力を受けた。
(順不同・敬称略) 京丹後市教育委員会・加悦町教育委員会・福知山市教育委員会・京都市考古資料館・(財)京都市埋蔵文化財研究所・向日市教育委員会・(財)向日市埋蔵文化財センター・長岡京市教育委員会・(財)長岡京市埋蔵文化財センター・八幡市教育委員会・城陽市教育委員会・井手町教育委員会・山城町教育委員会・京都府教育委員会
5. 本パンフレットは、京都府立山城郷土資料館の御協力を得て作成した。

第21回小さな展覧会 発行日 平成16年8月14日

編集・発行 財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 〒617-0002 向日市寺戸町南垣内40-3 TEL.075-933-3877 Fax.075-922-1189
ホームページアドレス <http://www.kyotofu-maibun.or.jp> 印刷 (株)大光社